

第6次一戸町総合計画前期基本計画

4年間の取り組みを評価しました

『一戸町総合計画前期基本計画』（以下「前期計画」）は令和4年度に計画期間の最終年度を迎え、令和5年度から令和8年度までの具体的な取り組みを定める、『一戸町総合計画後期基本計画』（以下「後期計画」）を策定しましたが、ここでは、後期計画の初年度にあたり、前期計画の期間を総括して評価・検証し、次年度以降の事業の立案や見直しに反映させる取り組みについてご紹介いたします。

一戸町総合計画とは

第6次一戸町総合計画の『基本構想』は、およそ30年後に実現したい町の姿を描いた『基本理念』と、それを実現するための方向性を六つの章で定めた『基本目標』で構成されています。

具体的な取り組みは、4年ごとに見直す『基本計画』と毎年度見直す『実施計画』に基づき進められています。

【基本理念】

- ① みんなが生き生きと繋がって賑わいをつくり出しているまち
- ② みんなが自然や文化がもつ魅力を引き出しているまち
- ③ みんなが安心して、これからも暮らし続けたいと思うまち

令和4年度の取り組みの全体評価

前期計画期間の最大の成果は、御所野遺跡を含む『北海道・北東北の縄文遺跡群』の世界遺産登録です。多くの町民や関係者による活動が結実し、長年の悲願を達成しました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響で各種施策が制約を受ける中での取り組みとなり、さらに、令和4年8月の大雨災害を受け、前期計画期間は生活・生産活動支援、災害復旧が大きなウエイトを占めることとなりましたが、各分野とも着実な取り組みが見られました。後期計画でも、およそ30年後に実現していきたい3つの理念の達成に向けて取り組みを進めていきます。

Interview



一戸町総合計画審議会 会長
岩手大学 今井 潤 教授
(岩手大学 研究支援・産学連携センター 副センター長)


一戸町総合計画前期基本計画の最終年にあたる令和4年度と、併せて4カ年にわたる計画期間全体の実績が評価されました。

活発な審議の結果、全体的にはほぼ順調という評価をいただきました。また、歴史や文化を活かすまちづくりの部分

では、御所野遺跡の世界遺産登録もあり、順調との評価をいただきました。しかしながら、人口減少は今後急速に進みます。

明るく活発な一戸町を維持していくために、町民の皆様の積極的な地域活動への参加を期待します。

明るく活発な町のため、積極的な活動を

より詳しい内容は、下記QRコードから、町ホームページに記載の実績評価報告書をご覧ください。

 町政策企画課
 ☎33-2111 内線214

～各章の4年間の評価～

1 将来を担う人材を育むまちづくり

1

評価：おおむね順調

生涯学習分野において多様な学習機会を提供するとともに、町民の読書の振興を図りました。
 学校教育分野では、教育環境整備として、ICT教育に必要な機器および関連装置の追加、専門のICT教育アドバイザーの設置など教育環境の向上に努めました。



ICT機器を活用した授業（一戸中）

2 人が集まり地域が活力にあふれるまちづくり

2

評価：おおむね順調

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、地域コミュニティの育成よりも機能維持支援が中心となりました。
 共生社会の構築では東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン相手国であるパラグアイ共和国選手団とのさまざまな交流事業を行いました。



パラグアイ選手と町内小学生との交流

3 産業の振興と仕事の創出を図るまちづくり

3

評価：おおむね順調

産業分野の担い手確保、新商品開発、ふるさと納税返礼品の充実などで一定の成果が得られました。
 コロナ禍からの脱却の動きを捉えて、御所野遺跡と奥中山高原の集客力をさらに引き出しながら観光、教育、体験などさまざまな形態の来訪者を受け入れる取り組みを一層充実させていきます。



令和4年から始まった奥中山高原にぎわい市

4 歴史や文化を活かすまちづくり

4

評価：順調

コロナ禍で、無形民俗文化財の発表の場が減少し伝承活動の停滞が危ぶまれましたが、屋外開催など工夫を凝らして各団体の活動支援に努めました。
 今後は、昨年8月の大雨により被害が出た国指定史跡奥州街道の保全修理工事の実施、「旧朴館家住宅」保存修理事業に対する理解を深める広報活動に努めます。



郷土芸能発表と伝承の機会『郷土芸能祭』

5 元気で健やかに暮らせるまちづくり

5

評価：おおむね順調

新型コロナウイルス感染症対策に注力する中、地域福祉、子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉および保健・医療の多岐にわたる分野で堅実に取り組みを進めました。
 県立病院への医師確保を引き続き要請し、県立病院空きスペースの活用や新たな機能の付加など、引き続き関係機関と協議を重ねていきます。



子育て支援センターのびのび

6 生活しやすい環境が充実するまちづくり

6

評価：おおむね順調

道路、上下水道といった社会基盤の整備および消防設備の更新は計画に沿って実施できました。ソフト面では、SDGs普及のためのカフェを開催、脱炭素の取り組みとして再生可能エネルギーの導入を促進するための計画策定を進めています。令和4年度には、コロナ禍で開催を見送っていた地域懇談会を開催しました。



令和4年に開催したSDGsカフェ